

第1号議案

平成 22 年度 千葉県自閉症協会活動報告

全般的活動（会長：大屋）

1. 千葉県における自閉症、発達障害の人たちを代表する団体として活動しました。
千葉県自閉症協会を構成する 17 市・地区自閉症協会に所属している会員総数は、23 年 3 月時点で 1,068 名です。
2. 千葉県の健康福祉、特別支援教育行政担当者と緊密に意見交換を行いました。
3. 千葉県の福祉、教育に関わる会議に委員として参加しました。
千葉県障害のある人の相談に関する調整委員会 古屋道夫
障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例推進委員会 大屋滋
千葉県発達障害者支援センター連絡協議会 大屋滋
千葉県人権施策推進委員会 大屋滋
千葉県特別支援教育総合推進事業運営協議会 大屋滋
4. 地区会との協力の下、千葉県自閉症協会の運営を行いました。
1,2 ヶ月に 1 回の頻度で、理事会を開催しました。
役員メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。
5. 事業部、Will クラブ事業部、総務部、広報部において、種々の事業を行いました。
6. 平成 22 年 4 月、千葉県・市発達障害者支援センターと世界自閉症啓発デー in ちば実行委員会を組織し、自閉症啓発デー関連のイベントを実施しました。
7. 千葉県発達障害者支援センター、千葉市発達障害者支援センターとともに世界自閉症啓発デー in ちば実行委員会を組織し、平成 23 年 3 月 25 日・26 日開催に向けて展示会やキャラバン隊の公演、講演会等を企画しましたが、東日本大震災の発生により延期いたしました。千葉県庁懸垂幕、成田市役所広告塔への掲示活動を行いました。
8. 日本自閉症協会の活動へ参画しました。総会、理事会、役員連絡メーリングリストなどで、協会の活動、運営体制、組織改革について積極的に意見や要望を行いました。
理事：白水幹久、大屋滋
代議員：竹蓋伸六
出版部委員：朝倉潤一、白水幹久、大屋滋、神成京美
共済事業 ASJ 互助会給付委員：高橋純子
共済事業 ASJ 互助会推進委員：矢作貞代
9. 関東ブロック会議及び、メーリングリストの運営に参画しました。関東ブロック内での意見や情報の交換を行いました。
10. 他の都道府県の発達障害支援センター、医療・教育・福祉など団体の依頼を受け、講演や研修などの活動を行いました。

各部局活動報告

事務局

1. 地区自閉症協会の活動を支援しました。
 - 「ドラムサークル」（船橋市自閉症協会）、後援。
 - 講演会「将来を見据えて、今できること」（千葉市自閉症協会）、後援。
 - 平成22年度公開セミナー「発達障害児者への子育て、就労の支援について」（習志野市自閉症協会・八千代市自閉症協会ジョイント企画）、後援。＜セミナー延期＞
 - 「中邑賢龍先生の講演会」（社会福祉法人青葉会設立準備会）、後援。＜講演会中止＞
2. 関係団体との連携、協力等を図りました。
 - 「第22回全国グループホーム・ケアホーム等研修会」（千葉県知的障害者福祉協会）後援。
 - 「障害児・者父母団体地域指導者養成研修会」（全国心身障害児福祉財団）7/15、古屋理事出席。
 - 「特支県P連啓発会議」7/15、竹蓋理事出席。
 - 「JR労組大会」（JR東日本労組千葉）7/4、白水副会長出席。
 - 植草学園大学（鳥居先生）のアンケート依頼にWillクラブが対応。テーマ「自閉症スペクトラム障害の実行機能と中乗性統合に関する認知特性の解明。
 - 「第3回地域づくりフォーラム」（千葉県社会福祉事業団、NPOほぴあ）、後援。
 - 「地域生活支援フォーラム千葉」（海匠ネットワーク）、後援。
 - 千葉県特別支援学校PTA連合会研究大会（県P連）10/20、竹蓋副会長出席。
 - 「第3回地域づくりフォーラム」12/8、来賓として白水副会長出席。
 - 千葉県特別支援教育研究連盟理事長、長生特別支援学級設置校校長会会長、長生地方特別支援教育連盟理事長より第38回千葉県特別支援教育振興大会及び第45回長生地区特別支援教育振興大会実行委員会の委嘱及び第1回実行委員会の開催についての依頼があり、今関理事出席。
 - 千葉県TEACCHプログラム研究会連続セミナー、後援。
3. 22年度ペアレントメーター事業養成講座開催にあたり、ベーシックコース修了者を対象に受講希望者を取りまとめて申し込みをしました。
4. 千葉県障害福祉課より「障害のある人の相談に関する調整委員」の推薦依頼があり角口監事を推薦しました。
5. 「列車の旅プレゼント」10/9に会員32組が参加しました。千葉支社保有の団体専用電車「ニューなのはな」に乗車して、南房総・安房小湊「内浦山県民の森」に向かいました。現地ではNゲージ、ミニ新幹線、ストライクアウト、集団ジャンケンゲームなどで盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。
6. ASC事務所の管理（郵便、ファックス等への対応・整理）をしました。
7. ASJ互助会給付委員会に給付委員、高橋理事が出席しました。
 - 平成22年度委員会12回開催
 - 4/22、5/24、6/23、7/22、8/24、9/27、10/22、11/25、12/20、1/24、2/24、3/25
 - 3月現在加入者 協会2,954人、施設1,603人、事務局566人、合計5,123人
8. ASJペアレントメンター電話相談員として細田理事が対応しました。
 - 平成22年度10回開催（うち1回カンファレンス）
 - 4/21、5/19、6/16、6/21、7/21、9/15、10/17、11/17、1/19、2/16、3/16（中止）
9. 東日本大震災の義援金50,000円を送りました（義援金名称：東日本大震災義援金、義援金対象者：宮城県自閉症協会、岩手県自閉症協会、福島県自閉症協会等会員の被災者）。

総務部

1. 日本自閉症協会「いとしご」「かがやき」直送会員名簿作成と管理、及びそれに伴う千葉県地区自閉症協会との入・退会、訂正受付業務と入会金の管理をしました。
2. 千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入・退会受付と会員への連絡を行いました。
3. 会員・団体の個人情報保護管理の徹底をはかりました。
4. 県助成金申請事務業務を行いました。
5. 日常の金銭出納及び会計帳簿、伝票等諸証書、預金通帳の管理等金銭管理業務を行いました。担当者 一般・特別会計 渡邊政志
6. 親子の旅事業の事務処理と、日帰り親子遠足（11/23、京成スカイライナー乗車と成田空港見学）を実施しました。

広報部

1. 広報誌「みち」77号を平成22年10月2日に2,650部、「みち」78号を平成23年2月27日に2,250部発行しました。
2. 千葉県自閉症協会のホームページ(<http://www.interq.or.jp/japan/aschiba/>)をアップデートし、適時の情報発信を行いました。
3. 会員用メーリングリストを管理、運営しました。

事業部

1. 講演会を開催しました。
日 時：平成23年2月26日（土）
テーマ：社会で生きていくということ～働く人を育てるために～
講 師：小島秀子氏 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校 特別支援教育コーディネーター
自閉症スペクトラム士
会 場：千葉県労働者福祉センター
参加者：64名
2. 世界自閉症啓発デーイベント
事業名：世界自閉症啓発デー in ちば「みんな大切な仲間です」
千葉市発達障害者支援センター、千葉県発達障害者支援センターと共に実行委員会を組織し開催に向けて展示会やキャラバン隊の公演、講演会等を企画しましたが、東日本大震災の影響により延期しました。
3. 成年壮年自閉症課題
親なき後の意向書として「この子のための記録」の記入書式を完成し、記入例を付して各ASDに配布すると共に、ホームページに掲載しました。
研究懇談会を年6回開催（延参加者62名）、うち2回は千葉障害者就業支援キャリアセンター長の藤尾氏（発達障害者の就労支援について）と千葉県グループホーム支援員荒原氏（グループホームの良い点・問題点）を招いての勉強会を開催しました。

Willクラブ事業部

1. 定例会を11回（場所：船橋市中央公民館）開催しました。
4/19、5/17、6/14、7/12、9/18、10/18、11/15、12/20、1/17、2/7、3/7

2. 講演会・座談会を行いました。

- 6/28 座談会「発達障害と不登校・ひきこもりから就労へ」
講師：成瀬榮子先生（NPO 法人セカンドスペース代表）
会場：船橋市中央公民館
- 11/27 講演会「集団場面における不適応行動をめぐって」
講師：井澤信三先生（兵庫教育大学）
会場：千葉県青少年女性会館
- 1/29 講演会「発達障害当事者本人とかかわって」
講師：浅見 淳子氏（花風社社長）
会場：きぼーる 13 階千葉市ビジネス支援センター会議室

3. 余暇支援を行いました。

アリスのお茶会（女の子限定）

6/6 谷津バラ園

12/12 房総のむら

3/13 ディズニーシー（地震のため中止）

レッツゴークラブ

6/19 国際子ども図書館

3/5 房総半島横断の旅

親子の旅事業

1/8～9 もちつきキャンプ（柏市 手賀の丘少年自然の家）

鉄道部

4/10 大日影トンネルと新府の旅

8/28・29 名古屋の鉄道に乗ろう

12/27 特定区間一筆書きの旅

ゲームの会

5/30、8/29、2/26

4. 家庭学習支援プロジェクトを行いました。

4/12、7/12 参考書探し

6/7、11/1、（3/14 は地震のため中止）学習座談会

7/18 進路報告会

5. その他

3/8～13 鉄道自慢展協力（地震のため中断）

平成 22 年度 特別会計収支報告

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

| 収 入 | | 支 出 | |
|-----------|-----------|----------|-----------|
| 前年度繰越金 | 1,062,013 | 通信費 | 0 |
| 利子 | 73 | 一般会計に繰入 | 0 |
| 一般会計からの繰入 | 1,028,200 | 次年度への繰越金 | 2,090,286 |
| 合 計 | 2,090,286 | 合 計 | 2,090,286 |

平成 22 年度 千葉県自閉症協会 貸借対照表

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

| 資産の部 | | | 負債の部 | |
|------|-------|-----------|--------|-----------|
| 未収金 | | 0 | 未払金 | 0 |
| 現金預金 | 一般勘定 | 748,459 | 正味財産の部 | |
| | 特別勘定 | 2,090,286 | | |
| | 基金 | 600,000 | 基金 | 600,000 |
| 商品在庫 | DVD在庫 | 0 | 特別会計財産 | 2,090,286 |
| | | 0 | 一般会計財産 | 748,459 |
| 合計 | | 3,438,745 | 合計 | 3,438,745 |

千葉県自閉症協会会計 渡邊 政志

第参号議案

平成 22 年度千葉県自閉症協会 監査報告

平成 22 年度 千葉県自閉症協会の帳簿、領収書、預金通帳を確認・照合し、収入支出ともに適正に処理され、当会資産が正しく保全されていることを認めます。

平成 23 年 4 月 16 日

監 事 角口 早苗

第四号議案

平成 23 年度 千葉県自閉症協会活動計画（案）

基本方針

1. 千葉県における自閉症児者支援運動を展開できる体制の構築を目指します。
2. 県民の自閉症の理解を促進するための活動を行います。世界自閉症啓発デーに向けて、県内の関係団体との連携を深めながら活動を行います。チラシやポスターを作成し、地区自閉症協会の啓発活動をサポートします。
3. 地区自閉症協会会員への情報提供を促進すると共に、千葉県内の自閉症児者、その家族、関係者への啓発活動に努めます。
4. 自閉症者の権利擁護に向けた取り組みを進めます。
5. 千葉県への政策提言を継続し、障害者支援諸施策立案活動への参画を行います。県内の行政機関、教育機関などに対して、発達障害者支援法、及び障害者自立支援法を踏まえて、自閉症の人の医療・教育・福祉の向上を目指した働きかけを行います。
6. 千葉県発達障害者支援センター（CAS）、千葉市発達障害者支援センターと連携を進めます。
7. 千葉県や全国の各発達障害者支援団体と連携を強めます。
8. 千葉県や全国で自閉症等の発達障害に関する啓発活動、研修活動、研究活動を行います。
9. 社団法人日本自閉症協会の正会員として、その全国的な活動の活性化に努めます。
10. 日本自閉症協会関東ブロック役員会議に積極的に参画します。

各部局活動計画

事務局

1. 運営方針

千葉県自閉症協会の組織運営の円滑化を図ります。

社団法人日本自閉症協会本部からの委託業務を的確に遂行します。

関係者の幅広い情報共有と意見交換を促進するため、下記のメーリングリストを活用します。

- ・ 千葉県自閉症協会役員 ML
- ・ 教育 ML
- ・ 発達障害者福祉 ML
- ・ 成年壮年自閉症課題研究会 ML
- ・ 千葉県自閉症協会 ML

2. 地区自閉症協会支援と連携

千葉県自閉症協会と地区自閉症協会の連携を強化し、地区自閉症協会の着実な取り組みを支援します。

地区自閉症協会の活動活性化と業容拡大に向け、先進地区自閉症協会の好取組事例を共有する取り組みを継続します。

自閉症に対する理解啓発を広域に促進するため、千葉県自閉症協会独自のポスターを作成し、地区自閉症協会と有効な PR 方法を検討しながら、千葉県内の関係各所および公共機関に配布

します。

総務部

1. 千葉県地区自閉症協会会員の入退会・訂正受付業務と名簿管理、及び日本自閉症協会との連絡調整、入会金の管理を行います。
2. 千葉県自閉症協会団体会員・支援会員の入退会業務と会員への連絡を行います。
3. 会計業務及び補助金申請業務を遂行します。
4. 親子の旅事業のとりまとめと日帰り親子遠足を実施します。

広報部

1. 広報誌「みち」の発行
「みち」79号を平成23年8月、「みち」80号を1月頃に発行します。
2. 千葉県自閉症協会のホームページを管理、運営し、適時の情報発信に努めます。
3. 会員用メーリングリストを管理、運営し、会員間に情報発信を支援します。

事業部

1. 講演会を開催します。
2. 成壮年自閉症課題研究会
年6回研究懇談会を開催します。
「親亡き後のために親が元気なうちに取り組む」ことを活動目的とし、この子のための記録の意向書としての充実化や、親が成年後見人となるための研究を深めると共に、今後の福祉制度の動向などについて勉強します。なお、活動目的に関する意識調査の実施を検討します。

Will クラブ事業部

1. 定例会を月1回（8月は休み）開催します。
2. 講演会、勉強会を実施します。
講演会（CASとの共催）
2回または3回を予定
座談会・勉強会
5月16日「就労支援のいま～制度をめぐって」（沼南育成園サポートセンター 市岡武氏）
3. 余暇支援を行います。
アリスのお茶会（女の子限定）年3回程度
親子の旅事業 12月頃 もちつきキャンプ
鉄道部 年3回
レッツゴークラブ 不定期
ゲームの会 不定期
4. 家庭学習支援プロジェクトを行います。
学習座談会 年3回
進路座談会 6月頃
5. その他

啓発事業

1. 世界自閉症啓発デー in ちば

千葉県発達障害者支援センター、千葉市発達障害者支援センターとともに世界自閉症啓発デー in ちば実行委員会を組織し、平成 23 年 9 月 19 日（月）に、千葉市きぼーるにおいて啓発イベントを開催する予定です。東日本大震災の被災経験を集約し、今後の災害対策などに関する展示を主体とし加える予定です。

2. 平成 24 年 4 月 2 日の世界自閉症啓発デーに合わせて、3 月末もしくは 4 月初めに、啓発イベントを開催する予定です。

第五号議案

平成 23 年度 千葉県自閉症協会予算（案）

（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

| 収入 | | | 支出 | | |
|-----------|-----------|---------------------------|------------|-----------|---------------|
| 科目 | 金額 | 備考 | 科目 | 金額 | 備考 |
| 正会員会費 | 4,280,000 | 4,000円×1,070名 | 日本自閉症協会会費 | 2,675,000 | 2,500円×1,070名 |
| | | | 日本自閉症協会旅費 | 214,000 | 200円×1,070名 |
| 支援会費 | 85,000 | 3,000円×15名 10,000円×4団体 | 日本自閉症協会入会金 | 150,000 | 3,000円×50名 |
| 入会金 | 150,000 | 3,000円×50名 | 事務局費 | 450,000 | |
| | | | 総務部費 | 100,000 | |
| | | | 広報部費 | 600,000 | みちの発行等 |
| 補助金および寄付金 | 537,000 | 親子の旅事業 448,000円他 | 事業部費 | 350,000 | 成壮研費用50000円含む |
| | | | WILLクラブ事業費 | 150,000 | |
| 事業収入 | 180,000 | 機関誌・書籍販売 | 事業費 | 250,000 | |
| | | | 親子の旅事業 | 448,000 | |
| 雑収入 | 2,000 | | 事務所経費 | 200,000 | |
| | | | 自閉症啓発デー費用 | 200,000 | 啓発デー行事費用 |
| 前期繰越金 | 748,459 | | 加盟団体分担金 | 32,000 | |
| | | | 予備費 | 163,459 | |
| | 5,982,459 | | | 5,982,459 | |

平成 23 年度 千葉県自閉症協会役員

| | | |
|----|-----------------------|------------|
| 理事 | 廣木 衛子・白水 幹久（我孫子市） | |
| | 富江 民子（市川市） | |
| | 辰巳 鐵次郎（市原市） | |
| | 清田 成子（印旛地区） | |
| | 高津 文子（浦安市） | |
| | 古屋 道夫・細田 智子（柏市） | |
| | 藤寄 義昭（君津地区） | |
| | 鈴木 寿裕・堀井 慶子・阿部明子（千葉市） | |
| | 今関 裕子（長生・山武） | |
| | 大屋 滋・竹蓋 伸六（東総地区） | |
| | 中村 美加（流山市） | |
| | 矢作 貞代・佐藤 彰（習志野市） | |
| | 大野 祐子（野田市） | |
| | 高橋 純子（船橋市） | |
| | 朝倉 潤一・四家 秀治（松戸市） | |
| | 渡邊 政志（八千代市） | |
| | 坂本 秀美・菅原 幸子(Will クラブ) | |
| | 監事 | 角口 早苗（松戸市） |

平成 23 年度 役職

| | |
|------|--------------------|
| 会長 | 大屋 滋 |
| 副会長 | 白水 幹久・竹蓋 伸六 |
| 事務局長 | 廣木 衛子 |
| 総務部長 | 矢作 貞代 |
| 広報部長 | 朝倉 潤一 |
| 事業部長 | 大野 祐子 |
| | 成壮年自閉症課題研究会 辰巳 鐵次郎 |
| | Will クラブ事業部長 坂本 秀美 |
| 一般会計 | 渡邊 政志 |
| 特別会計 | 渡邊 政志 |